



自分のいのち、 まわりの人のいのちを守る力を つけさせたい



5月29日(金)に全校で終日、防災学習を行いました。午前中は地域の方や関係団体の皆様方にもご協力をいただいて学年に応じた講座や体験活動を、午後からは地震を想定した避難訓練、そして保護者への引き渡し訓練を行いました。「実際に災害が起こった時に、自分に何ができるのか」と、自分事として考えられるように、体験型の講座をたくさん設定しています。

今年度から事前の案内に、部分的にはありますが保護者の方にもご参加いただける体験(★マークのもの)をお示しました。ご家庭でも、子どもたちと防災について考えていただけたらと思います。

さらに、今年度より、地震避難訓練のやり方を見直しました。これまでは、地震の訓練も、火事の訓練と同じように、迅速に校庭に逃げるという形で行ってきました。しかし、実際に直下型のような大きな地震が起こった場合にも、耐震化された校舎のような建物は倒壊する可能性は低く、一方で余震は何度も襲ってきて非構造部材(内壁、外壁など)や建物の接合部が壊れたり散乱したりする可能性は十分にあります。また、けが人や体調不良者がたくさん出れば、これまで行ってきたような訓練通りに、安全に校庭に逃げるのが難しい可能性もあります。そこで、今回は、教室内待機の避難訓練を行いました。「いざ!」というときにどういう行動をとるのがより安全か、いろいろな場合を想定しながら練習し、力を合わせて、自分のいのち、まわりの人のいのちを守ることでできる力をつけさせたいと考えています。

◆1年生

- ★防災グッズを作ろう(防災ママかきつばた)
- ・防災レクリエーション(学区の自主防災会)
- ・非常食にもなる「おやつ」・できなくなることクイズ(担任)
- ★避難所でほっとあったかハンドマッサージ(ハツ田小みらい会)



◆2年生

- ・防災クイズ(おやじの会)
- ・避難所で寝てみよう(日本赤十字社愛知県支部)
- ・防災かるたをしよう(あいち防災リーダー会)
- ★新聞スリッパづくり・防災ビンゴをしよう(担任)



・わたしはひなん所でだんボールベッドにねころがりました。こんなベッドでねられるなんて、はじめて知りました。テントの中にもねられるところがありました。そこでねたり、着がえたりできます。チャックをあけたりしめたりできます。ぼうさいのこについてよく分かったのがよかったです。(2年生)

・〇×クイズをしました。ぼうさいに役立つもんだいでした。地しんやつなみがおきた時、どんなことをするのか分かりました。(2年生)

◆3年生

- ★防災体験(濃煙体験、消火器体験、放水体験)
(知立市安心安全課、知立市消防団)
- ・みそまる、防災サラダをつくろう(担任)
- ・防災バッグの中身を知ろう(担任)



◆5年生

- ★防災すごろく(担任)
- ・避難所体験プログラム
(日本赤十字社愛知県支部)
- ・ハイゼックスで炊き出し体験とカレー作り(学区の自主防災会)



◆4年生

- ★防災クッキング(栄養教諭)
- ・防災のお話(自衛隊)
- ・防災バッグの中身を考えよう(担任)
- ・防災教室(アルソック)

・わたしが防災学習をしていけば心に残っていることは、体育館でねころがったことです、ゆかでねると痛かったし、それ以上に不安でこわかったです。本当に災害が起きていたら、こんなに暗い所で、外の状態がどうなっているのだろうと思ひ浮かべてしまって、ねられる気がしません。段ボールベッドでねてみると、思ったより丈夫で、作るのもみんなで協力すればすぐにできました。けれど、きっと暗くなったら不安になると思います。少しでも安心できるように、しっかりと災害に備えたいです。その一つとして、来年も、防災学習に真剣に取り組みたいです。(5年生)

・もしも災害が起きて、避難所に来たら、困っているお年寄りの荷物を持ってあげたり、子供と遊んであげたいと思いました。地震が来ても物が落ちてこないか、タンスは固定されているか、水や食べ物などの食料はあるかなどを確かめて、地震がいつ来てもいいように備えたいと思いました。それから、簡易トイレも絶対に備えておいた方が良く考えました。また、災害に備えるためには、まずは自分たちが住んでいる街のことを知ることが大事で、知ることができたら、どんな場所でどんなことが起きるのか想像することができればそれを防ぐ準備ができることがわかりました。防災に大切なのは、備えておくことと想像力を働かせることが大切だとわかりました。(6年生)



◆6年生

- ★HUG 避難所運営体験ゲーム
(知立市安心安全課)
- ・私たちの町の地形と地層
(日本技術士会中部本部)

◇ 避難訓練の反省 ◇

- ・こんな訓練は初めてだったのでちょっとこわかったです。(3年生)
- ・机の足を持つ時、手を出しすぎちゃうと、ものがぶつてきた時あたっちゃうから、気をつけた方がいいなと気づきました。(4年生)
- ・今回は訓練だったから、焦ったりするような事はなかったけれど、もしこれが本当だったら、みんながざわついてしまって、先生の話も聞こえなくなってしまうかもということを今回の避難訓練で改めて思ったことと、いつ災害が起きてもいいように前もって、準備しておくことも大切だとわかりました。(5年生)
- ・いつもの避難訓練(机に隠れて校庭に行き避難する)の感じではなかったけど、地震の合図が来て机の中に隠れました。今まで起きた地震では、長いところでは3分ずっと揺れたり、能登半島地震では20秒揺れ、その後余震の揺れが起きたりしたそうです。すごく大きい地震だとわかりました。また赤の人(大量出血、意識なし)とかが出た時は見ないように隣の1組に避難することになったけど、3年生では、隣のクラスに行ったら余震が来た時に隠れる場所がないから自分のクラスでいたということだったので、なるほどと思いました。30年以内に60~90%で知立市には6弱という7に近い震度が起きるので準備もしたいです。(5年生)

